

こうすればよい花が咲く肥料の使い方

三本立て厚物盆養の例

実績に裏付けられた理論の基に作られた土と肥料の組合せが最善の結果を生みます。

(管物は1/3〜1/4目安に調整して下さい)

	サシ芽		小鉢 3.5〜4号鉢		中鉢 5〜6号鉢		定植 9号鉢		花芽分化		着蕾・開花期	
	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
土												
	さし芽用土		育苗用土又はプレミアム菊養土		定植用土又はプレミアム菊養土				増し土用			
乾燥肥料	※定植前は“りんのちから”又は“スプレー菊の肥料”をお使い下さい ※菊養源3-7-6も使用できます (注)育苗期はアミノパワーは使用不可		りんのちから スプレー菊の肥料 鉢上げ7〜10日後に 3.5〜4号鉢=小さじ1杯(約5g) 5号鉢=大さじ1杯(約10g)		菊養源3-7-6 菊養源6-6-5 名彩輝 大さじ3〜4杯(約50g)を2週間に1度を目安に与えます (注)葉色が濃い場合、菊養源3-7-6がおすすめ		(注)管物の場合はスプレー菊の肥料又は菊養源3-7-6がおすすめ 使用量は1/3〜1/2に減らす		止め肥 菊養源6-6-5 大さじ3〜4杯(約50g) プレミアム菊養土にくんたん20%加えてもよい ★葉色が濃い場合は菊養源3-7-6を使用します		★木づくりが不十分で追込みたい場合 アミノパワー 材料入荷待ち 5〜6日間で2〜3回 大さじ1〜2杯(約15〜20g) 表土に散布	
			使用方の基本 りんのちから 又は スプレー菊の肥料 管物の場合は、りんのちから、菊養源3-7-6がおすすめです。追肥は草勢を見ながら慎重に決めて下さい。		菊養源3-7-6, 菊養源6-6-5, 名彩輝				菊養源6-6-5			
液体肥料	★さし芽=発根が始まったら1000倍で灌水 みらい		Pグリーン		アミノPK 花有機 又は 5〜7日間隔 灌水=500〜1000倍希釈 葉面散布=1000倍希釈(農業混合可) ※9月〜10月の追込みから開花期に使用しても良い		アミノスーパー631 育生有機 又は 5〜7日間隔 灌水=500〜1000倍希釈 葉面散布=1000倍希釈		(注)管物にはアミノPK花有機がおすすめ 追込み肥		花肥 みらい 開花時 間隔は適宜 灌水=1000〜2000倍希釈	
	生育全期間で使えます 灌水=500〜1000倍希釈 葉面散布=1000倍希釈		サシ芽の鉢上げ前 1〜2日前600〜800倍でタップリと灌水		使用方の基本 アミノPK (又は花有機)		アミノスーパー631 (又は育生有機)(注)		アミノPK (又はみらい)			
活力剤	あつしらず ・サシ芽の水上げより10日間隔で使用 ・サシ芽500〜1000倍で水上げ その後500〜1000倍で葉面散布 ※灌水でも使えます。 “暑くなってからでは遅い” 早めに使う		★小鉢から定植・開花まで全期間に使用します 土に活 土を元気にし根の働きを活発に体質強化と生育促進 肥料や水の吸収を良くする 約10日間隔 灌水=500〜1000倍希釈 ※葉面散布不可		元気に専科 葉色素を増し光合成を高め生育促進 病気や害虫の被害を少なくする 約10日間隔 灌水=500〜1000倍希釈 葉面散布=1000倍希釈		元気に専科 ★透水源と混合するとより効果的です ★肥料との混合使用できます ※灌水か葉面散布かは肥料の指定に合わせる		★生育全期間に使用します。 天然ミネラル ・根の回復 1000倍で2〜3日間隔で3〜5回 ・根の活力向上 ・暑さ対策 根勢強化 800〜1000倍で7〜10日間隔		かがやき ・生長期は1000倍 ・特に着蕾〜開花期まで 500〜1000倍で15日間隔 ※液肥と混合使用で効果的	
			使用方の基本 エストールは全生育期間でご使用いただけます		透水源 排水性を良くし根張向上 ●土の攪拌性を抑え水のしみ込みをよくなり土中に均一に水を拡散する。 ●水の透水性がよくなり根が元気になり、根ぐされが出にくくなる。 ●根の活力が増し肥料の吸収が高まり生育がよくなる。 ●水掛けや土づくりの水分調整に効果的です。 ●サシ穂の水上げにも効果的です。		ピーケー・マグ(PK+M) 葉色が濃くなった たれ気味になって来た 等の症状が現れた時 大さじ1杯(10〜15g) 表土に散布 使用方の基本 PK-M		Pグリーン チッ素過剰症改善 徒長防止 500〜600倍で葉面散布又は灌水・適宜使用 PK-M		ピーケー・マグ(PK+M) 開花期に入る前に余分なチッ素分を消化させる 大さじ1杯(10〜15g) 表土に散布 PK-M 大さじ1杯を2〜3回	
肥料調整剤	エストール 肥料の与え過ぎや根の活力低下などで培養土にたまった肥料の除去 まわしかけ=500倍希釈を2〜3L その後=水5〜10L 掛け流す		土に活(つちにかつ) ★肥料との混合使用できます(灌水) ★元気に専科と混合使用できます(灌水) ★透水源との併用はより効果的です									
その他	キクにキンコン サシ芽のポット上げ(鉢上げ)時に3〜4グラムを根にまぶして根付ける		ネフレッシュ 発根促進 根張り向上に ★サシ芽用土 1リットルに対し 20〜30g ★育苗用土 1リットルに対し 20〜30g		透水源 サシ穂の水上げ 2000〜3000倍(2時間〜3時間) ★水掛け時 3000〜5000倍 ★液肥に混合 3000〜5000倍 液肥の効きめ倍増				ネフレッシュ ※増し土1リットルに対し 20〜30g ※9月中〜下旬の増し土時に株元に10〜20g散布(上根の発生促進に)		こくなある ※9月中旬〜10月中旬に1000倍で4〜5回灌水	